※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	サクシード　数学Ｃ　（数研出版） チャート式基礎からの数学Ｃ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学を学習することにおいて留意することは、単に公式や定理を暗記して問題を解くだけでなく、数学の用語・記号、公式、定理などを体系的に理解して身につけ活用することです。また数学を学習していく過程で、帰納的な考え方、演繹的な考え方など、数学特有の見方や考え方を学ぶことになります。このような見方や考え方のよさを理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切であり、この本質をつかむと、未知のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学を通して、見通しをもち筋道を立てて考え、判断できる力を身につけるとともに、日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

２　学習の到達目標

ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基礎的な知識と技能を習熟する。数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察出来るようになる。数学のよさを認識できるようになるとともに，それらを活用出来るようになる。

数学のよさを認識し数学を活用し粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断出来るようになる。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したり出来るようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	第1章　平面上のベクトル	【第1節　平面上のベクトルとその演算】 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	a: ベクトルの演算の仕組みを理解し，ベクトルについて，加法，減法，実数倍を考察することができる。 b: ベクトルの演算において成り立つ法則について，考察することができる。 c: ベクトルの演算に興味，関心をもち，数式の演算法則との類似性を考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		【第2節　ベクトルと平面図形】 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. ベクトル方程式	a: 点の位置を，基準となる点と１つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 b: 位置ベクトルを活用して，図形の性質が考察できる。 c: 位置ベクトルを用いて，平面図形についての命題を証明しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	第2章　空間のベクトル	1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形	a: 空間図形において，ベクトルの和や差を考えることができる。 b: 空間のベクトルを，平面上のベクトルの拡張として捉えることができ，平面上のベクトルで成り立つ性質が，空間においても同様に成り立つことを理解している。 c: 空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度